

整理番号	HT28007	分野	生物・自然	キーワード	シュノーケリング・魚類・分類・生態
------	---------	----	-------	-------	-------------------

## 北海道大学

### のぞいてみよう海の底、北海道の魚たちをまるごとリサーチ

先生(代表者)	宗原 弘幸(むねはら ひろゆき) 北方生物圏フィールド科学センター・准教授				
自己紹介	海の極前線と呼ばれる暖流と寒流がぶつかる北海道の海は、生物量が豊富です。環境変動に敏感な海域でもあり、環境科学の研究最前線です。北海道に生息する魚類を材料に「調査」や「研究」を体験し、将来の進路を考える機会にしてもらいたいと考えています。				
開催日時・主な募集対象	平成 28 年 7 月 31 日(日)	(対象)	小学 5・6 年生、 中学生・高校生	(人数)	20 名
集合場所・時間	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 臼尻水産実験所		(集合時間)	9:00	
開催会場	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 臼尻水産実験所 住所: 〒〒041-1613 函館市臼尻町 152 アクセスマップ: : <a href="http://www.hokudai.ac.jp/fsc/usujiri/usujiri.html">http://www.hokudai.ac.jp/fsc/usujiri/usujiri.html</a> (「利用者へ」に記載あり)				
内 容					
<p>表層には暖流が、その下には寒流が流れる北日本の海にくらす生き物たちのルーツは極東ロシアやアラスカなどにあります。そのため、関東以南には生息しない寒い海に適応した仲間たちが主役です。今、地球規模で進行している急速な温暖化による生息温度の変化や南方からの生物の侵入のため、北日本に生息する生物は、その子孫の維持が困難になる可能性があります。</p> <p>暖流に乗ってやってくる南の魚(クロマグロ、マンボウなど)と、北海道に定着している(メバル、カレイ、カジカ、アイナメ類など)を教材に、実験とシュノーケリングによる観察や採集を体験し、海洋生物学の重要性と面白さ、そして海の恵の大切さを伝えたいと考えています。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
9:00～ 9:10 北方生物圏フィールド科学センター 臼尻水産実験所にて受付				水着(あれば2枚)	
9:10～ 9:20 開校式、科研費の説明				バスタオル	
9:20～10:00 フィールドの説明と講義(北海道の魚について)					
10:00～10:30 シュノーケリングの説明と機材準備				特 記 事 項	
10:30～12:00 シュノーケリングによる水中観察				心肺循環器系疾患がない方。	
12:00～13:00 昼食とフリートーク				参加にあたっては、保護者の同意が必要です。	
13:00～14:30 シュノーケリング又は地引き網					

14:30~15:00 シャワーと機材後片付け	昼食は提供します。
15:00~16:00 魚類標本の査定	
16:00~16:15 クッキータイム	
16:15~17:00 説明・アンケート記入・未来博士授与式	
17:00 終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

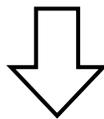
所属・氏名：	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター臼尻水産実験所 宗原 弘幸(むねはら ひろゆき)/宮島 侑也(みやじま あつや)
住所：	〒041-1613 函館市臼尻町 152
TEL 番号：	0138-25-3237(事務室)/5088(研究室)
FAX 番号：	同上
E-mail：	usujiri@fsc.hokudai.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月21日(木)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※受付完了した方には、7月21日(木)までに郵便(またはメール)にてご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
宗原 弘幸	H25-27	基盤研究(B)	25304011	親潮流路にある島嶼生物の側所的進化と適応放散-極東域生物相形成史の解明を目指して



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。